

かつうら

勝浦地域郷づくり推進協議会 ～ 勝浦PRカレンダー ～



▲2024年カレンダー表紙写真



▲2025年のカレンダー



▲2025年カレンダーの中身

勝浦地域では「郷づくり基本構想」で掲げる目標1-1「誰もが郷づくりを知っていること」を実践するため、令和4年度から「勝浦PRカレンダー」の製作を始めました。

地域内外の方に呼びかけて集まった勝浦地域の自然風景・史跡・文化・イベントなどの写真(令和4年度:59点、令和5年度:46点、令和6年度:42点)から、表紙を含む13枚を選定し、勝浦地域独自のカレンダーを製作しています。製作したカレンダーは、勝浦地域全世帯や事業所、勝浦小学校の児童・教職員などに配布しています。

各月のカレンダー下部に「勝浦地域郷づくり推進協議会」の文字が印字されており、勝浦地域の自然風景やイベントの写真と共にカレンダーを見るたびに目に飛び込んできます。郷づくりの認知度を高めるためには“とにかく「郷づくり」という文字を見せることが重要である”という発想から生まれたこの事業は、地域の方々にもご好評いただいています。

つやぎ

津屋崎地域郷づくり推進協議会 ～ 潮風吹く 小さなまちの 小さな灯り展 ～



◀ カメリア前スタードーム

この活動は、冬の津屋崎のまちに温かな「あかり」を灯すことで、一年の終わりにまちの人々が集い、大切な人との楽しいひとときを過ごしてもらいたいという思いから始まりました。宮の元公園の小さな催しから始まったこのイベントも、今では津屋崎郷づくり交流センターや津屋崎千軒まで「あかりの輪」が広がっています。

共催する津屋崎郷づくりでは、竹のスタードームや屋外の樹木をはじめ、室内も電飾で飾り付けを行い、地域の方々に光輝く小さな灯りを楽しんでいただきました。「郷のホットコーナー」では、うどんや肉まん、コーヒーなどの振舞いのほか、親子で来場する子どもたち向けに「ゲームコーナー」も設けました。

また、21の市民活動がエントリーした第1回「ふくつウェルビーイング大賞 2024」で、「小さな灯り展」が栄えある市民賞をいただけたことは嬉しい限りです。「無理なく・楽しく・皆でつくる」ことを大切にしている活動の輪が少しずつ広がることを願っています。



▲ 大好評だった
”あったか丸天うどん”



▲ お菓子釣りゲームを手伝う
中学生のボランティア

みやじ

宮司地区郷づくり推進協議会 ～ 語ろう会 ～



◀「夏祭り語ろう会」
現状の夏祭りを関係者のみな
さんで振り返り



▲「子ども会について語ろう会」▲

30～40代保護者世代と自治会長皆さまと、“地域ぐるみで
関わるこどものこと”について語り合いました。(左)
課題とこれからの展望案が数多く出されました。(右)

宮司郷づくりでは、夏の「みやじ夏祭り」冬の「餅つき大会」の2大イベントを中心に、幼児から高齢者まで関わられる様々な地域交流活動を行っています。その中でも令和6年度から新たな取り組みとして「語ろう会」を始めました。

昨今、自治会加入率も下がる中、地域の皆さんが楽しく関わられるような仕組みを検討する中で、地域の皆さんがふれあい、交流が持てる場、また一緒に楽しく地域のことを考える場を持つことで、緩やかに地域活動に関わってくださる方の発掘にも繋がればと考えています。そんな「語ろう会」の中から生まれる活動が、これからじわじわと広がりを持ち、新たな関係性構築の一助となればと思います。

令和6年度は「夏祭り」と「子ども会」の2つの語ろう会を実施しました。堅苦しい会議ではなく、地域の皆さんお一人お一人が主人公となって、共に宮司地域の未来を考えることができた会となりました。来年度もテーマを変えて、継続して行っていく予定です。

ふくま 福間地域郷づくり推進協議会 ～ 海岸松林ウォーク in ふくま ～



◀ ウォーク日和で、足取りも軽く！

平成27年2月、“後世に繋ごう「白砂清松」”をスローガンに、多くの皆さんが松林の中を歩くことで、松林の素晴らしさ、保全活動の大切さを体感してもらい、保全活動への参加協力を呼び掛けようと、「海岸松林ウォーク in ふくま」を、福間郷づくり主催で開催しました。

おかげ様で、令和6年には第11回を迎え、老若男女400人を越える参加がありました。保全活動の参加者は年間延べ2千人を超え、今では福間郷づくりのメイン事業として定着しています。更にこの事業は、JRウォーキング・ふくつスイーツウォーキングへの参画や福間小学校の遠足コースとなる等、松林を利用したイベントへとつながっています。

また令和6年12月には第1回「ふくつウェルビーイング大賞 2024」で多くの市民の皆さんの応援を受け、「3つ星」の獲得と「市長賞」の受賞に輝きました。私達は今回の受賞を機に、更に「活動の輪」を拡げ、福津市の自然遺産を後世に残す活動を続けていきたいと思ひます。



▲ 歩いた後のお楽しみは、豚汁のおもてなし



▲ 家族みんなで歩いたよ

じんごう

神興地域郷づくり推進協議会 ～ 神興 KIZUNA らんち ～



◀ ランチを楽しむ参加者たち



▲おやじの会 焼きそば調理



▲サイエンスショー

神興地域は高齢化が進む一方で、育成会の解散や各自治会の子ども会の減少など少子化も進み、子どもを取り巻く環境が変化しています。そこで、子育て部会が中心となり、3年前から「神興KIZUNAらんち」を開催しています。毎回 300 名以上の方が来られ、令和6年度は令和7年2月に4回目を開催します。

小学校、幼稚園、保育園などが一緒になって「みんなでランチを食べよう」と地域に呼びかけ、地域の方や子どもたち、保護者と一緒にランチを食べます。また、「ニュースポーツ」「サイエンスショー」などの遊びを楽しめる企画や「子ども防災カード」「新聞紙のスリッパ作り」「ポリ袋で作るご飯」などの防災について学べる企画、「フードドライブ」の取り組みも行っています。

活動当初から参加していただいているご家族も多く、地域の方にとっても、楽しみにされている活動となっているようです。活動に共感した市民の方や中高生、おやじの会など多くのボランティアの方に参加していただいています。

じんごうひがし

神興東地域郷づくり推進協議会

～ 第1回神東ソフトボール大会 ～



◀ 珍プレー好プレーで大盛り上がり！

「どうしたら現役世代と交流できるか」と頭を悩ませていた時、市の300歳ソフトが雨で中止になり、地域の若い人たちから「ソフトボールの試合がしたい」との呟きの声を聞いたことがきっかけでこの事業が始まりました。参加希望のあった8チームの監督の中から2名を選出し、経費やルール、課題などを短期間でまとめ、令和6年11月に、なまずの郷多目的広場で、第1回神東ソフトボール大会を開催しました。

当日はトーナメント方式の7試合。監督、選手、応援者を含めて約200名が参加し、好プレーや珍プレー、ハッスルプレーなど白熱した試合経過で、笑いや称賛の声が絶えない元気で楽しいイベントとなりました。

大会後、多くの監督や選手から「楽しい大会だった。来年もぜひ計画してほしい」という声が届いたため、今後も継続していきたいと思っています。この大会は、郷づくり事業の若返りと今後の人材発掘につながるのではないかと期待が膨らみます。



▲全チーム揃った開会式の様子



▲優勝(左)・準優勝(右)チーム

かみさいごう

上西郷地域郷づくり推進協議会 ～ 上西郷スケッチコンクール ～



▲上西郷スケッチコンクールの
ポスター



▲チャレンジスクール・絵画教室



▲交流センターで作品展を見る
児童たち

「上西郷地域の素晴らしさを見つけよう!ふるさとの魅力再発見!!」のキャッチフレーズで、上西郷小学校の児童が参加する「上西郷スケッチコンクール」を開催しています。2023年は「冬」、2024年は「夏」の上西郷を描きました。2025年は「夏」の予定です。

夏休みに入って「チャレンジスクール・絵画教室」を2日間開催しました。北九州漫画ミュージアムの田中館長に指導をお願いした後、夏休み期間中に上西郷の美しい自然や、歴史・伝統、暮らしの風景などを小学生が伸び伸びと描きました。

120を超える素晴らしい作品の応募があり、郷づくり役員・部会長・自治会長の皆さんに審査をお願いし、入賞作品を選び表彰を行いました。上西郷郷づくり交流センターで作品展を開催したことで、多くのご家族が来場し、作品や交流センター内を見ていただくことができました。郷土愛を育み、家族や友達の住む上西郷をもっと好きになって欲しいと思っています。

